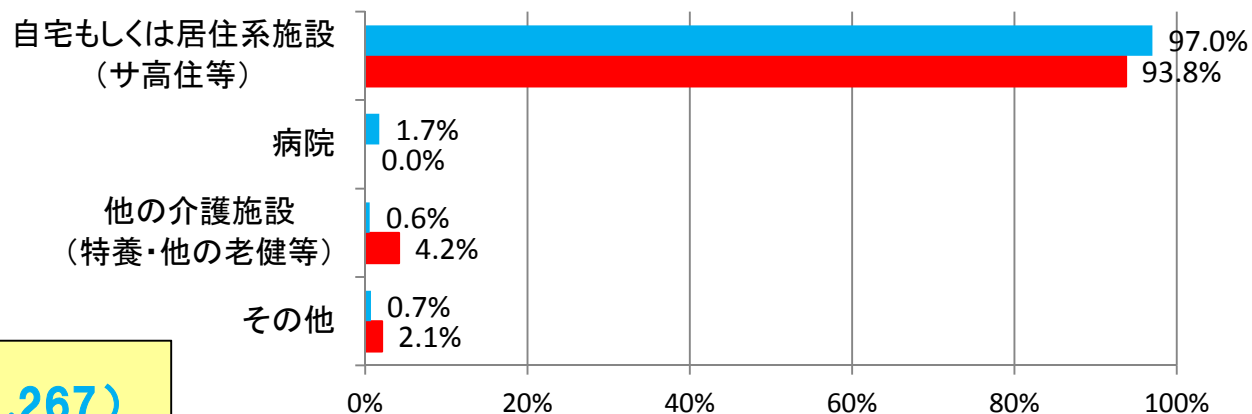


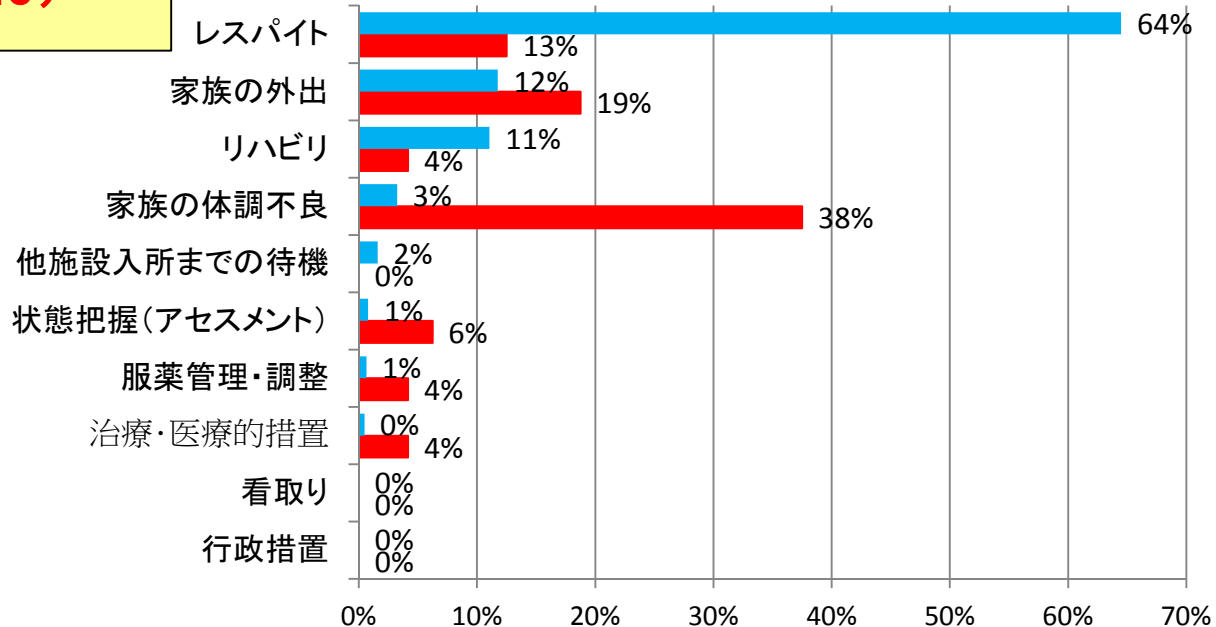
# ショートステイ直前の利用者の所在と利用目的

## ショートステイ直前の所在



■ 通常ショート (n=1,267)  
■ 緊急ショート (n=48)

## ショートステイの利用目的

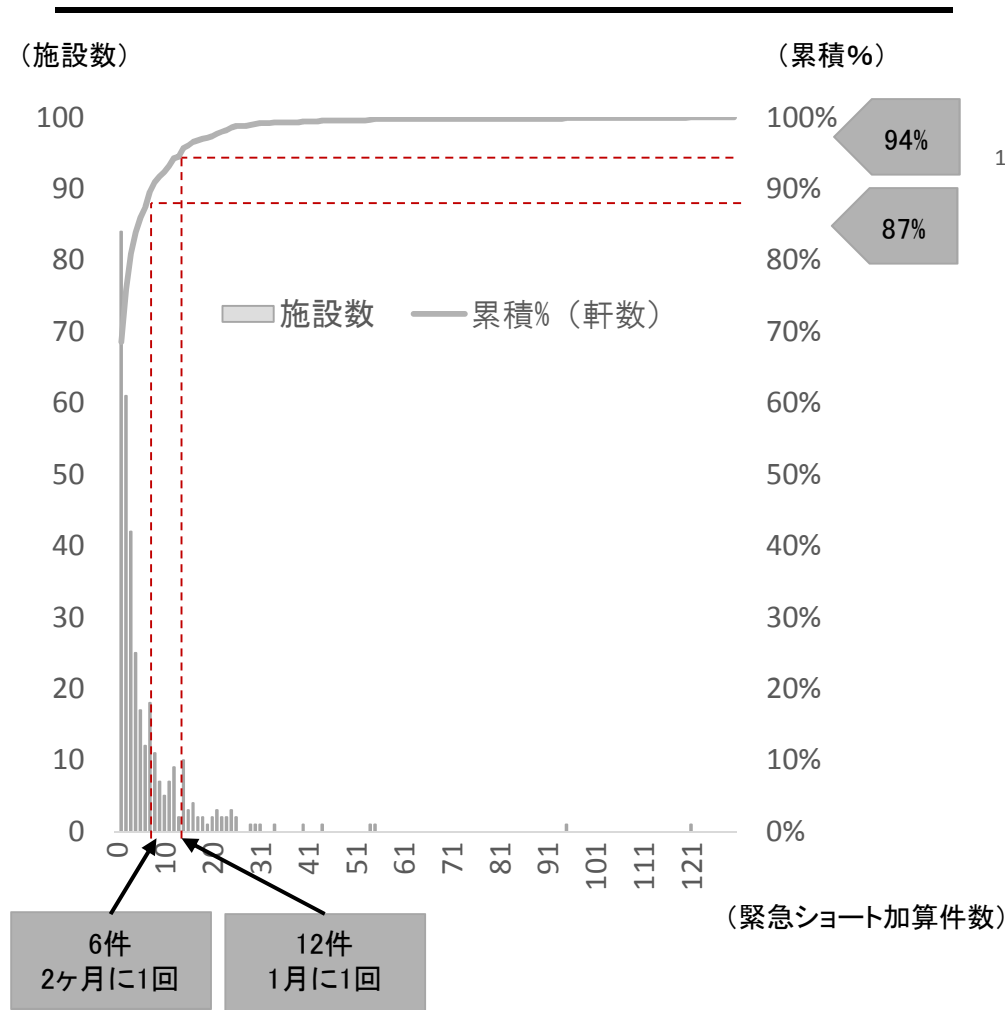


- 通常・緊急ショートともに『自宅もしくは居住系施設』からの利用が殆どである。
- 緊急ショートは『家族の体調不良』や『レスパイト』が主な利用目的である。

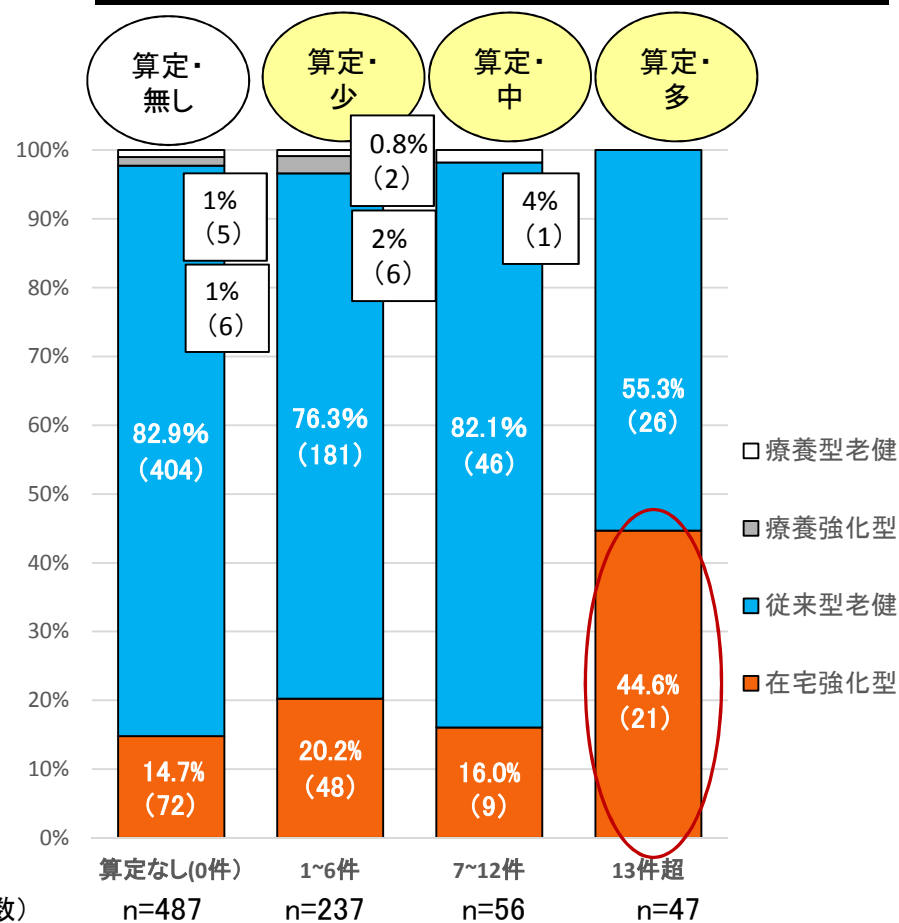
## 緊急ショートの利用者数と施設類型

- 緊急短期入所受入加算(緊急ショート)算定件数(左図)を元に、6件/年、12件/年を基準値とした
- 緊急ショート算定件数が多い施設では、「在宅強化型」の施設が多い傾向が見られた(右図)

緊急ショート加算の算定件数(1年間、算定あり) n=368



緊急ショート加算件数別の施設類型 n=827



注: Nは有効回答数とし、無効回答、無回答を除外  
 注: 右表では算定なしに加え、算定について回答のあった340サンプルを集計

# 地域包括ケアシステムの拠点として 老健施設が担う役割

## リハビリテーションの充実

- ・ 地域のリハビリテーションセンター  
訪問リハビリ、通所リハビリ、個別リハビリ(SS)等

## 認知症へのより高度な対応

- ・ 認知症短期集中リハビリテーション
  - ・ 認知症ケア
  - ・ 多職種共同

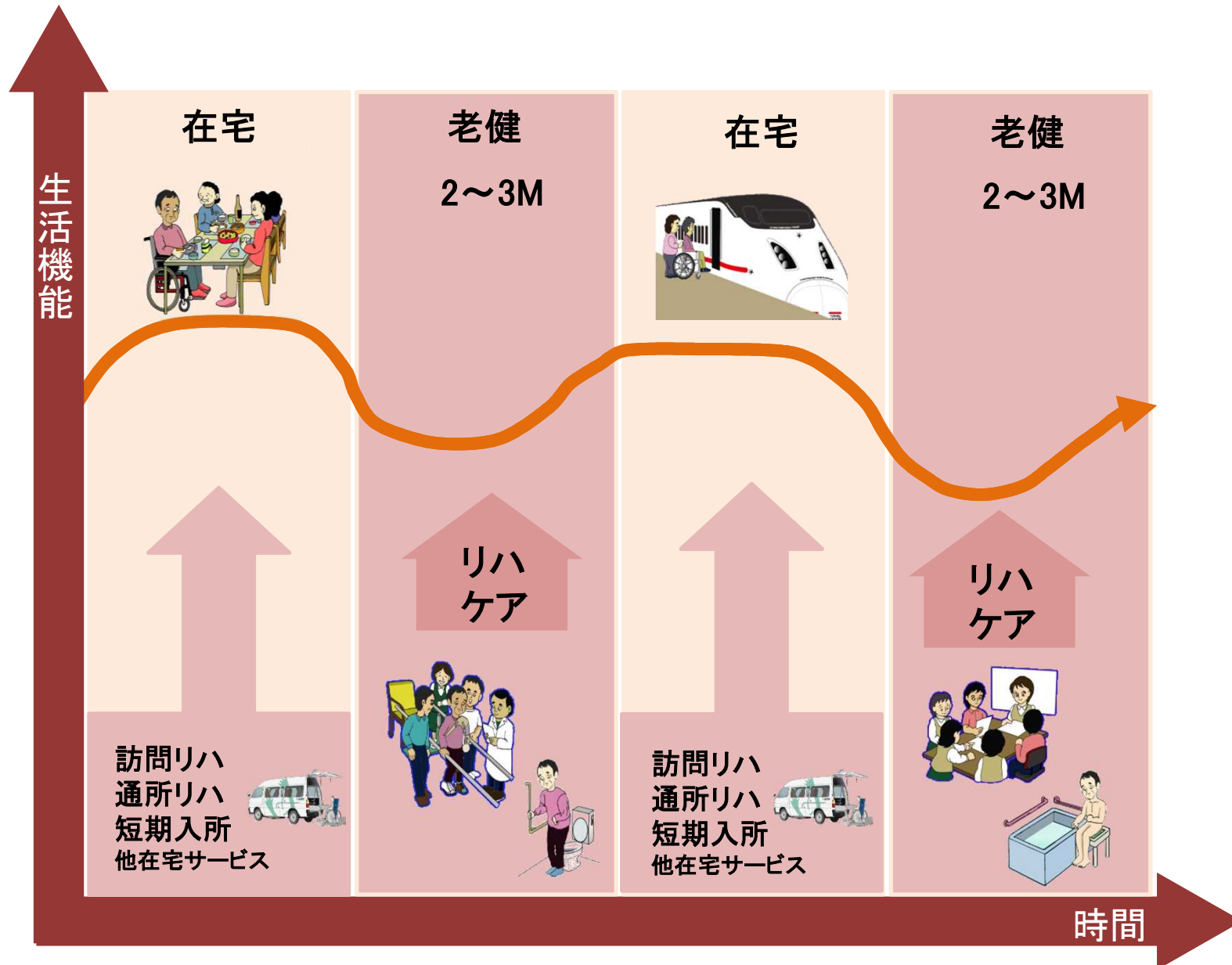
## 医療の充実

- ・ 看取り
- ・ 高齢者医療
- ・ 薬剤調整

## R4システムを基盤とした ケアの質の充実

- ・ ICF - staging の活用

# 老健施設の往復型利用による在宅生活の継続



# 地域包括ケアシステム推進老健施設

